



**三代教主さま
思い出アルバム**



瑞泉苑大祭で先達をつとめられる
(昭和41年8月8日)



優しい眼差しを信徒へ
(昭和 49 年 2 月 4 日)



灯芯のあかりの下で夜ばなし茶事
(昭和47年3月4日)



素焼の水指に下絵を写生する
(昭和 43 年 3 月 16 日)



立花大亀師との二人展のための作品の窯出し
(昭和43年11月29日)



太鼓の稽古
(昭和41年4月15日)



尊師さま満 90 歳のお誕生日の日
(昭和 62 年 12 月 28 日)



節分大祭で
(昭和 49 年 2 月 4 日)



清水比庵師との二人展会場で
(大阪高島屋・昭和49年10月17日)



弥仙山中の宮で先達をつとめられる
(昭和38年4月28日)



美しく咲き誇るコノハナザクラに手を差し伸べられる
(昭和 53 年 4 月 18 日)



尊師さまとのお対面に笑みをこぼされる
(昭和61年12月28日)



信徒の見送りを受けて
(昭和40年11月14日)



自作の素焼の茶盃、皿に絵つけされる
(春陽閣・昭和39年7月23日)



お駕籠で弥仙山参拝
(昭和38年4月28日)



梅松館の機場での織りぞめ
(昭和42年3月11日)



発表会で小鼓を
(京都河村能楽堂・昭和38年4月23日)



歌祭の後のお国自慢大会をご覧になって
(昭和36年8月7日)



還曆に能「西王母」を舞われる
(昭和37年3月7日)



梅松館完成祝賀演奏会での八雲琴演奏
(昭和41年4月11日)



信徒との面会の席で
(梅松苑・昭和39年4月14日)



ロクロに向かって作陶に励まれる
(昭和42年7月25日)



大本みろく能での狂言を楽しまれる
(昭和46年4月6日)



机上のバラを写生される
(昭和41年8月22日)



神前に玉串を捧げられる
(昭和 47 年 6 月 9 日)



御殿舞
(昭和44年7月13日)



信徒の余興を楽しまれる
(竹田別院・昭和45年4月19日)



手を降って信徒を見送られる
(弥仙山・昭和38年4月28日)



苑内でタンポポ摘みをされる
(天恩郷・昭和38年4月17日)



桂の枝を手に信徒に話しかけられる
(弥仙山・昭和38年4月28日)



誕生日に舞囃子「枕慈童」を舞う
(昭和 36 年 3 月 7 日)



お居間でお若い頃から大切にされた人形と
(昭和36年11月13日)



四代さまと露をお摘みになる
(昭和45年4月16日)